

こんなとき、どうする？

じぶん み じぶん まも
—自分の身を自分で守ろう—

れいわ ねんどぼん
令和6年度版

わたしたちのまわりにある^{きけん}危険をさけるためには、いざという
ときの「^{じぶん み まも かた し}自分の身の守り方」を知っておくことが大切です。
^{とも いえ ひと}友だちや家の人と「こんなとき、どうする？」か^{かんが}考えてみま
しょう。

ねん くみ なまえ
年 組 名前

こどもをまもろう 110番



足立区青少年問題協議会
足立区青少年対策地区委員会
足立区町会・自治会連合会
足立区・足立区教育委員会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署
足立区立小学校・中学校PTA

「こどもをまもろう110番」のステッカーがお店や個人宅に貼られています。ここは、子どもが不審者に遭遇した時などに、とっさに逃げ込める場所です。

(足立区教育委員会 青少年課)



「いかのおすし」

^{こま}困ったときや^{きけん}危険を^{かん}感じたときには、

- いかない
- のらない
- おおごえをだす
- すぐにげる
- しらせる

「いかのおすし」とおぼえましょう

こんなとき、どうする？ ①

Q：信号や横断歩道を渡るとき

A：青信号を守っていても、横断歩道を渡っていても、絶対に安全というわけではありません。むりやり横断歩道に入ってくる車、歩いている人に気付かない運転手がいるかもしれません。

右と左をしっかりと見て、車がとまっているか、運転手さんが自分に気付いているかを確認してから、手をあげて渡りましょう。

信号や横断歩道では、どうしたら安全に渡ることが出来ますか。友だちや家の人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ②

こうえん ひろば あそ
Q：公園や広場などで遊ぶとき

あそ はい とも
A：ひとりでは遊ばないようにしましょう。トイレに入るときは、友だ
いりぐち ま
ちに入口で待っててもらいましょう。

いえ ひと いっしょ あそ とも なまえ あそ ばしょ つた で
家の人には、一緒に遊ぶ友だちの名前と遊ぶ場所を伝えてから出か
かえ じこく いえ ひと やくそく かなら まも
けましょう。また、帰る時刻を家の人と約束をして、必ず守りましょ
う。

そと あそ い まも
外に遊びに行ったらどのようなことを守ればよい
いえ ひと やくそく はな あ
でしょうか。家の人と約束を話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ③

Q：知らない人に声をかけられたとき

A：「何かあげる」と言われても、はっきりと断り、ついていってはいけません。こわいと思ったら、「子どもをまもろう110番」の家や近くのお店ににげこんだり、大声を出したり、防犯ブザーを使ったりするなどしながら、近くの人に助けを求めましょう。家に帰ったら、知らない人に声をかけられたことを家の人にすぐに話し、110番通報しましょう。普段から人通りの多い道を歩くようにしましょう。

知らない人に声をかけられたら、どうしたらよいでしょう。友だちや家の人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ④

いえ はい
Q：家に入るときや、ひとりでいるとき

いえ はい おも ひと
A：ひとりで家に入るときは、まわりに「へんだなあ」と思う人がいな
たし
いか確かめてから、かぎをあけましょう。

いえ はい
ひとりのときは、家に入ったら、かぎをかけましょう。

し ひと き いえ はい
知らない人が来ても、家には入れないようにしましょう。

いえ ゆうびん たくはいびん
ひとりで家にいるときに郵便や宅配便な
はいたつ
どが配達されたらどうしたらよいでしょう。
とも いえ ひと はな あ
友だちや家の人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ⑤

し ひと でんわ
Q：知らない人から電話がかかってきたとき

し ひと じぶん とも じゅうしょ でんわばんごう おし
A：知らない人には、自分や友だちの住所・電話番号などを、教えてはいけません。（知り合いのふりをしていることも考えられます。）

い
しつこくたずねられたり、こわいことを言われたりしたら、「わかりません」「これで切ります」と言い、電話を切りましょう。また、
このような電話があったら、必ず家の人や学校の先生に知らせましょう。

じゅうしょ でんわばんごう おし
「〇〇さんの住所と電話番号を教えて」など
と電話がかかってきました。どうしたらよい
ですか。友だちや家の人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ⑥

くるま の ひと こえ
Q：車に乗った人から声をかけられたとき

し ひと くるま ぜったい の みち き くるま ちか
A：知らない人の車には絶対に乗らないこと。道を聞かれたら、車に近
よし くるま の
よらないで教えてください。むりやり車に乗せられそうになったら、す
おおごえ だ ぼうはん な ちか ひと たす もと
ぐ大声を出すか防犯ブザーを鳴らして近くの人に助けを求めたり、
ばん いえ みせ ひと し
「こどもをまもろう110番」の家やお店のの人に知らせたりしましょう。

くるま の し ひと いえ ひと
車に乗った知らない人に「家の人がかげがを
くるま の い
したからすぐに車に乗りなさい」と言われま
した。どうしたらよいですか。友だちや家の
ひと はな あ
人と話し合いましょう。



保護者の皆様へ

各地で子どもたちが巻きこまれる事件や交通事故などが後を絶ちません。子どもの生活・交通安全対策は、学校、家庭だけでなく、地域をあげて取り組まなければならない課題です。また、子どもたちにも、自分の身の安全について考え、行動できることが求められています。

この資料では、いくつかの事例をあげ、基本的な対応方法を示しました。何か困ったことが起きる前に、日頃からお子さんとぜひ「自分の身の守り方」について話し合ってください。

